

EDINET に書類を提出する際の操作手順の変更について

令和2年3月14日（土）のシステムメンテナンス終了後から、EDINET に書類提出する際の操作手順を一部変更する予定です。変更理由や変更概要は次のとおりです。変更内容を反映した書類提出操作ガイド等は同年2月21日（金）にEDINET ウェブサイトに掲載する予定です。

1. 変更理由

従来、EDINET の開示書類提出機能では、Java Applet を使用していましたが、今般 Java Applet を使用しない方式に変更します。この変更に伴い、操作手順の一部も変更となります。

2. 変更概要

（1）大量保有報告書以外の書類提出の場合

現行) 提出書類のアップロード（送信）時に、書類データが保存されているフォルダを指定します（書類提出操作ガイドの P135～P136 をご参照。）。

新) 提出書類データが保存されているフォルダを「圧縮（zip 形式）フォルダ」（以下「zip ファイル」という。）に変換し、提出書類のアップロード（送信）時に zip ファイルを指定します。

注：Windows 環境において zip ファイルを作成するには、対象のフォルダを右クリックし、「送る > 圧縮（zip 形式）フォルダー」を指定してください。

（2）大量保有報告書の提出の場合

ア. 大量保有報告書を個々に提出する場合
項番 2.（1）の手順と同じです。

イ. 複数の大量保有報告書を一括提出する場合

現行) 提出書類のアップロード（送信）時に、一括提出用 CSV ファイルを指定します（書類提出操作ガイドの P262～P263 をご参照。）。

新) 提出書類データと一括提出用 CSV ファイルを同じフォルダに格納し、当該フォルダを zip ファイルに変換し、提出書類のアップロード（送信）時に zip ファイルを指定します。

注：CSV ファイルに記載する内容には、現行では提出書類データの格納フォルダまでのパスを記載していますが、新手順では格納フォルダのフォルダ名のみを記載します。

ウ. Web 入力フォームから提出する場合
変更はありません。

3. 備考

提出途中のデータ（EDINET にシステムメンテナンスより前に登録された、仮登録前又は本登録前の状態のデータ）については、引き続き提出作業にお使いいただけます。

以上